

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-01-01
事務事業名	乳幼児等健康診査事業		根拠法令・要綱等 母子保健法
事業開始年度	昭和41年		
大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合せ先 担当課(室) 保健課
中項目	基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり	職・氏名 健康係長・白麗由美子
小項目	施策	母子保健(歯科保健を含む)	電話 64-1820

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	妊産婦・乳幼児
目的(何のために)	疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣、歯科保健、栄養、育児等に関する指導を行うことにより、妊産婦・乳幼児の健康の保持増進を図る。
行政活動(どのような方法で)	妊婦一般健康診査・乳児一般健康診査を医療機関に委託し、個別健診を行う。 乳幼児健康診査(乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査)と1歳食身体験(公害健康被害予防事業)を集団健診方式で実施。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	乳幼児健康診査受診率の増加

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
乳幼児健康診査	人	1,200(対象1,451)	1,106人(対象1,348)	1,073人(対象1,313)
妊婦乳児一般健康診査	枚	延817	延841	延1254
直接事業費	千円	9,604	9,328	10,906
人件費	千円	11,292	9,075	10,097
事業費計		20,896	18,403	21,003
国県支出金		915	969	727
受益者負担	千円			
市一般財源		19,981	17,434	20,276
必要人員	人	1.87	1.65	1.80
結果指標名				
結果指標	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
乳幼児健診受診者数	説明			
結果指標量	人	1,200	1,106	1,073
対前年比	%	-	92.2%	97.0%
活動コスト	円	20,896,000	18,403,000	21,003,000
単位当たりコスト	円	17,413	16,639	19,574
結果指標	説明			
妊婦乳児一般健康診査受診券利用枚数	説明			
結果指標量	人	817	841	1,254
対前年比	%	-	102.9%	149.1%
活動コスト	円	20,896,000	18,403,000	21,003,000
単位当たりコスト	円	25,576	21,882	16,748

事業の成果			
成果指標名	乳幼児健診受診率	式又は説明	乳幼児健診受診者数 / 乳幼児健診対象者数
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	82.70	82.00	81.72
対前年比		99.15%	99.66%
到達目標値	85.00	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えているが目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	母子保健法に基づき実施している事業であり、対象者は妊婦・乳児と妥当である。妊娠期や乳幼児の発育段階にあわせて、疾病の早期発見・早期治療及び生活習慣や栄養、育児について指導を行うことで、妊産婦・乳幼児の健康の保持増進を図ることができるため、継続して実施する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	効率性評価<A-E>	B
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	妊婦・乳児一般健康診査については、平成19年度11月から無料券2回から5回に拡大している。厚生労働省からも妊娠中の健診費用の負担軽減が求められ、妊婦健診の回程度の公費負担が原則であると通知があった。今後も重点化して取り組まざるを得ない事業のため、コスト削減は困難である。乳幼児健診については、本庁一括実施を継続し、コスト削減に努めている。	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	有効性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを削減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	乳幼児健診受診率は前年度とほぼ横ばいであった。保護者の仕事や保育園通園で未受診となる可能性があるため、健診の必要性を再度保護者に説明するとともに、未受診者の全数把握ができるように努める。	
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
職場		<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識
成果向上の可能性		<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成20年度の状況		説明
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 1,100人(対象1,286人)	結果指標量 1300枚
成果指標量	85.00	

総合評価		評価区分<A-E>	B
母子保健法に基づいた事業であり、母子の健康確保を図るうえでなくてはならない事業である。自治体における妊婦健診の公費負担の充実が求められ、必要性を踏まえて無料券の拡大を行った。全国的にも拡大の方向へ向かっており、妊婦が安心して出産を迎え、出産後も健康の保持増進ができるように継続していく必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	乳幼児健診受診勧奨	随時	健診受診率の向上 虐待予防
有効性	妊婦一般健康診査の償還払い制度の導入 無料券回数拡大に向けての検討	早期に 平成21年度	妊婦健診に係る自己負担の軽減 市民満足度の向上